平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名　フジテック株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6406　URL　http://www.fujitec.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 内山　高一
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長　(氏名) 加藤　義一　TEL 0749-30-7111

四半期報告書提出予定日　平成25年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	27,946	17.4	1,196	△2.0	1,616	28.9	946	49.9
25年3月期第1四半期	23,796	8.6	1,220	257.8	1,254	216.6	631	―

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　4,959百万円　(69.3%)　25年3月期第1四半期　2,930百万円　(144.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	10.12	―
25年3月期第1四半期	6.75	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	134,301	82,117	56.0
25年3月期	122,643	78,272	58.6

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　75,168百万円　25年3月期　71,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	6.00	―	10.00	16.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		9.00	―	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,000	22.9	4,800	32.3	5,200	38.9	2,800	41.6	29.93
通期	150,000	27.7	11,000	19.9	11,800	17.2	6,600	19.8	70.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	93,767,317 株	25年3月期	93,767,317 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	205,280 株	25年3月期	203,231 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	93,562,781 株	25年3月期1Q	93,569,155 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了し、平成25年8月7日付でレビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計方針 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
(継続企業の前提に関する注記) …… 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 9
(セグメント情報等) …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

（金額単位：百万円未満切捨て）

	前第１四半期 連結累計期間 （2012年４月１日～ 2012年６月30日）	当第１四半期 連結累計期間 （2013年４月１日～ 2013年６月30日）	前年同四半期比(%)
売上高	23,796	27,946	17.4
国　　内	10,302	11,777	14.3
海　　外	13,494	16,168	19.8
営業利益	1,220	1,196	△2.0
経常利益	1,254	1,616	28.9
四半期純利益	631	946	49.9
１株当たり四半期純利益	6.75円	10.12円	―

当第１四半期連結累計期間の世界経済は、中国では内・外需の鈍化から景気の減速感が強まりました。韓国、台湾では輸出の回復が弱く足踏み状態となり、南アジア諸国は総じて緩やかな拡大となりました。北米では回復基調が継続する一方、財政問題の影響が残る欧州では引き続き低調に推移しました。日本では、海外景気の下振れ懸念が残るものの、新政権発足後の円安、株高から、輸出や個人消費が持ち直し、景況感は改善いたしました。

昇降機業界におきましては、アジア地域や北米では概ね堅調に推移しましたが、欧州では低調となりました。日本では、マンションや商業施設の着工が増加するなど、需要は好調に推移しました。

このような情勢のもと、当第１四半期連結累計期間における国内市場では、新設需要の回復により、マンション向けを中心に標準型エレベータ「エクシオール」の受注が増加するとともに、商業施設向けにオーダー型エレベータやエスカレータの販売が伸長しました。また、モダニゼーション事業では、既設のエレベータ・エスカレータを最新の制御システムに更新する「制御盤交換パッケージ」の販売が引き続き好調なことに加えて、国庫補助金の対象となる「安全向上パッケージ」の受注が順調に増加しました。以上の結果、国内受注高は164億82百万円（前年同四半期比24.9%増）となりました。

海外市場においては、主に中国を中心とする東アジアでの新設工事の増加により、海外受注高は218億76百万円（同38.2%増）となりました。

以上の結果、受注高合計は、383億59百万円（同32.2%増）となりました。なお、海外受注高は為替変動による影響を除くと、実質19.2%増となっています。

売上高は、国内売上高117億77百万円（前年同四半期比14.3%増）、海外売上高161億68百万円（同19.8%増）となり、計279億46百万円（同17.4%増）となりました。なお、海外売上高は為替変動による影響を除くと、実質3.2%増となっています。

受注残高は、国内では、新設工事やモダニゼーション工事の伸長により、426億20百万円（前連結会計年度末比12.5%増）となりました。海外では、主に東アジアでのエレベータ新設工事が大きく増加したことにより、867億24百万円（同22.0%増）となりました。この結果、受注残高合計は、1,293億45百万円（同18.7%増）となりました。なお、海外受注残高は為替変動による影響を除くと、実質7.0%増となっています。

損益面では、営業利益は主に東アジアでの増益に対し、日本での減益により11億96百万円（前年同四半期比2.0%減）、経常利益は為替差益の計上により16億16百万円（同28.9%増）となりました。投資有価証券評価損などで、税金等調整前四半期純利益は16億９百万円（同34.6%増）となり、四半期純利益は９億46百万円（同49.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

（金額単位：百万円未満切捨て）

	売上高			営業利益		
	前第１四半期連結累計期間	当第１四半期連結累計期間	前年同四半期比(%)	前第１四半期連結累計期間	当第１四半期連結累計期間	前年同四半期比増減額
日　　本	11,119	13,004	17.0	368	195	△172
北　　米	2,879	3,430	19.1	△0	18	18
欧　　州	87	94	8.1	△5	△6	△1
南アジア	2,345	2,822	20.4	373	433	60
東アジア	8,938	10,973	22.8	484	694	209
小　　計	25,370	30,325	19.5	1,220	1,335	114
調 整 額	△1,573	△2,379	―	△0	△139	△139
合　　計	23,796	27,946	17.4	1,220	1,196	△24

（日　　本）

売上高は、主に新設工事の増加により、130億４百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。営業利益は、円安の影響による輸入材料費の上昇などで、１億95百万円（同１億72百万円減）となりました。

（北　　米）

売上高は、主に新設工事の増加により、34億30百万円（前年同四半期比19.1%増）となりました。営業利益は、販売管理費の減少などで、18百万円（前年同四半期　営業損失０百万円）となりました。

（欧　　州）

売上高は、94百万円（前年同四半期比8.1%増）、営業損益は、６百万円の営業損失（前年同四半期営業損失５百万円）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質6.5%減となりました。

（南アジア）

売上高は、サービス事業の増加により、28億22百万円（前年同四半期比20.4%増）となりました。営業利益は、材料費や据付コストの上昇などで、４億33百万円（同60百万円増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた営業利益は、実質1.9%減となりました。

（東アジア）

売上高は、主に中国でのエレベータ新設工事が伸長し、109億73百万円（前年同四半期比22.8%増）となり、営業利益は、売上高の増加および韓国での輸出事業の採算改善などで、６億94百万円（同２億９百万円増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質6.0%増となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産額は、1,343億１百万円となり、前連結会計年度末に比べ116億58百万円増加しました。これは主に、現金及び預金、仕掛品、原材料及び貯蔵品が増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ78億12百万円増加し、521億83百万円となりました。これは主に、短期借入金、前受金、工事損失引当金が増加したことによります。

純資産額は、821億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億45百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定が30億37百万円増加したことによります。また、当第１四半期連結会計期間末の自己資本比率は56.0%（前連結会計年度末比2.6ポイント減）となり、１株当たり純資産額は803.41円（同34.77円増）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2014年３月期　第２四半期（累計）（2013年４月１日～2013年９月30日）および2014年３月期（2013年４月１日～2014年３月31日）の連結業績予想につきましては、2013年５月10日に公表した予想を修正しております。

また、連結業績予想の修正を踏まえて、配当予想についても修正しております。

詳細につきましては、本日（2013年８月８日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計方針

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2013年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2013年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,446	37,545
受取手形及び売掛金	31,039	31,611
商品及び製品	3,204	4,060
仕掛品	4,738	5,879
原材料及び貯蔵品	5,944	7,185
その他	5,284	6,448
貸倒引当金	△920	△1,191
流動資産合計	80,736	91,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,409	17,511
機械装置及び運搬具（純額）	2,148	2,201
工具、器具及び備品（純額）	1,547	1,569
土地	6,816	6,827
リース資産（純額）	3	2
建設仮勘定	833	855
有形固定資産合計	28,759	28,966
無形固定資産		
のれん	689	720
その他	2,447	2,744
無形固定資産合計	3,136	3,464
投資その他の資産		
投資有価証券	5,020	5,345
長期貸付金	1,913	1,912
その他	3,207	3,207
貸倒引当金	△130	△132
投資その他の資産合計	10,011	10,331
固定資産合計	41,907	42,763
資産合計	122,643	134,301

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2013年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2013年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,403	13,067
短期借入金	600	1,126
1年内返済予定の長期借入金	1,474	1,488
未払法人税等	1,345	1,531
賞与引当金	2,333	2,809
工事損失引当金	3,434	4,087
その他の引当金	515	500
前受金	11,752	17,443
その他	5,094	5,041
流動負債合計	39,953	47,095
固定負債		
長期借入金	67	540
退職給付引当金	4,037	4,234
その他	312	313
固定負債合計	4,417	5,088
負債合計	44,371	52,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,565	14,565
利益剰余金	61,520	61,531
自己株式	△134	△136
株主資本合計	88,485	88,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,021	1,225
為替換算調整勘定	△17,589	△14,552
その他の包括利益累計額合計	△16,568	△13,326
少数株主持分	6,355	6,949
純資産合計	78,272	82,117
負債純資産合計	122,643	134,301

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2012年４月１日 至　2012年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2013年４月１日 至　2013年６月30日）
売上高	23,796	27,946
売上原価	18,472	22,338
売上総利益	5,324	5,608
販売費及び一般管理費	4,103	4,412
営業利益	1,220	1,196
営業外収益		
受取利息	86	133
受取配当金	62	78
為替差益	－	165
その他	36	72
営業外収益合計	185	449
営業外費用		
支払利息	18	21
為替差損	124	－
その他	9	8
営業外費用合計	151	29
経常利益	1,254	1,616
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	－
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	20	1
投資有価証券売却損	－	0
投資有価証券評価損	38	5
特別損失合計	58	7
税金等調整前四半期純利益	1,195	1,609
法人税、住民税及び事業税	390	1,254
法人税等調整額	17	△796
法人税等合計	408	457
少数株主損益調整前四半期純利益	787	1,151
少数株主利益	156	204
四半期純利益	631	946

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2012年４月１日 至　2012年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2013年４月１日 至　2013年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	787	1,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215	204
為替換算調整勘定	2,358	3,603
その他の包括利益合計	2,142	3,808
四半期包括利益	2,930	4,959
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,439	4,188
少数株主に係る四半期包括利益	490	771

（３）　四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2012年４月１日　至　2012年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売　上　高								
外部顧客への売上高	10,318	2,873	85	2,344	8,173	23,796	―	23,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	800	6	1	0	764	1,573	△1,573	―
計	11,119	2,879	87	2,345	8,938	25,370	△1,573	23,796
セグメント利益又は損失（△）	368	△0	△5	373	484	1,220	△0	1,220

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△０百万円には、セグメント間取引消去８百万円およびたな卸資産の調整額△８百万円が含まれています。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2013年４月１日　至　2013年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売　上　高								
外部顧客への売上高	11,788	3,422	90	2,822	9,821	27,946	―	27,946
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,215	7	4	0	1,151	2,379	△2,379	―
計	13,004	3,430	94	2,822	10,973	30,325	△2,379	27,946
セグメント利益又は損失（△）	195	18	△6	433	694	1,335	△139	1,196

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△139百万円には、セグメント間取引消去７百万円およびたな卸資産の調整額△147百万円が含まれています。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。